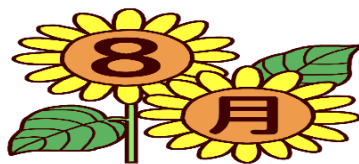


# 病児室たより

R6年 第3号



## <<子どもを守る熱中症対策>>

- ・こまめに水分補給をする
- ・定期的に休憩する
- ・服装の調節（身体の清潔）
- ・温度と湿度調整
- ・地面の熱に注意（照返し注意）
- ・熱い環境に子供を一人にしない

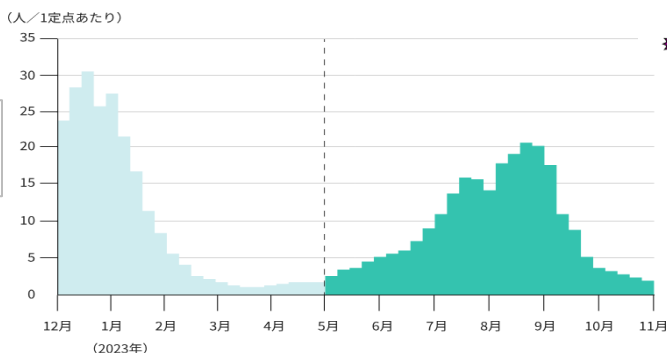
暑い夏がやってきました。  
熱中症注意です。水分補給や体調管理に気をつけながら外遊びは涼しい時間帯に出来ればお買い物も涼しい時間に行いたいものですね。  
暑さに負けない体を作り元気に過ごしましょう

## <<まだコロナ感染症>>

一般的にウイルスは増殖や感染を繰り返す中で徐々に変異をしていくことが知られており、新型コロナウイルス感染症としてワクチンなどの研究がすすめられ予防薬が出来、発症人数も少しずつ抑えられてきましたが、新型コロナウイルスについても少しずつ変異をしています。現在新型コロナウイルス感染症の位置づけは、令和5年5月8日から「5類感染症」（厚生労働省発表）となりましたが、今なお、罹患後症状がみられる方、重症化される方がおられます。山形県での発症6月はおよそ160名代だったのが、少しずつ増え始め7月中旬発生数181名となっております。次の感染波のピークは今年の夏に達することも予想されるため、感染症の警戒を怠らず、家族と自分を守るために人混みは避けるなど最善の準備をしておきましょう。

### 新型コロナウイルス感染症定点当たり報告数(全国)推移

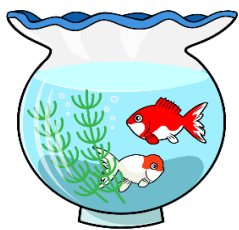
厚生労働省、国立感染症研究所の発表では、2023年はこのような推移を辿っています。



※5月以前の数値は、HER-SYSデータに基づく定点医療機関からの患者数(参考値)



2023年厚生労働省  
データ参考



## <<手足口病が流行しています>>

手足口病とは、手足やおしり、口腔内に水疱性の発疹が出る感染症です。発熱する事もありますがあまり高くなり、数日間の内に治る事が殆どです。しかし、稀に脳炎などの合併症を引き起こす事もあるので注意が必要です。又手足口病の原因ウイルスは複数あるので、一年に数回かかる、あるいは2～3年続けてかかる事もあります。(大人がかかると子供よりも症状が重く出やすいと言われてます)

口の中など粘膜にできたところは、水疱が破れやすく口内炎ができたり、発疹部の水疱が破れたりつぶれたりして皮膚がただれることもあり患部は常に清潔にしましょう。ただれ等ひどい時には主治医に相談してください。患部に触れる時の手は勿論清潔にしてください。

